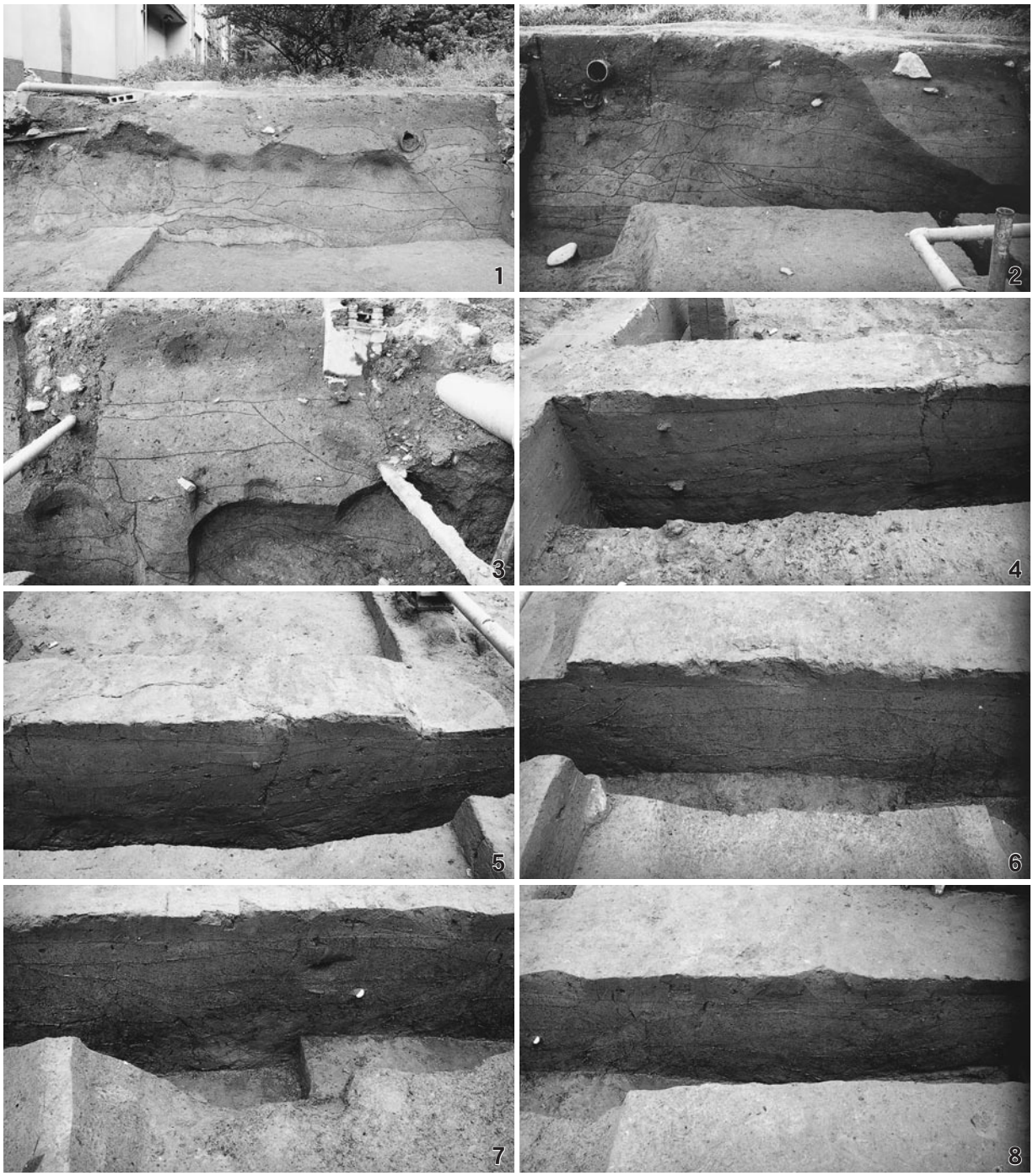
図　　版

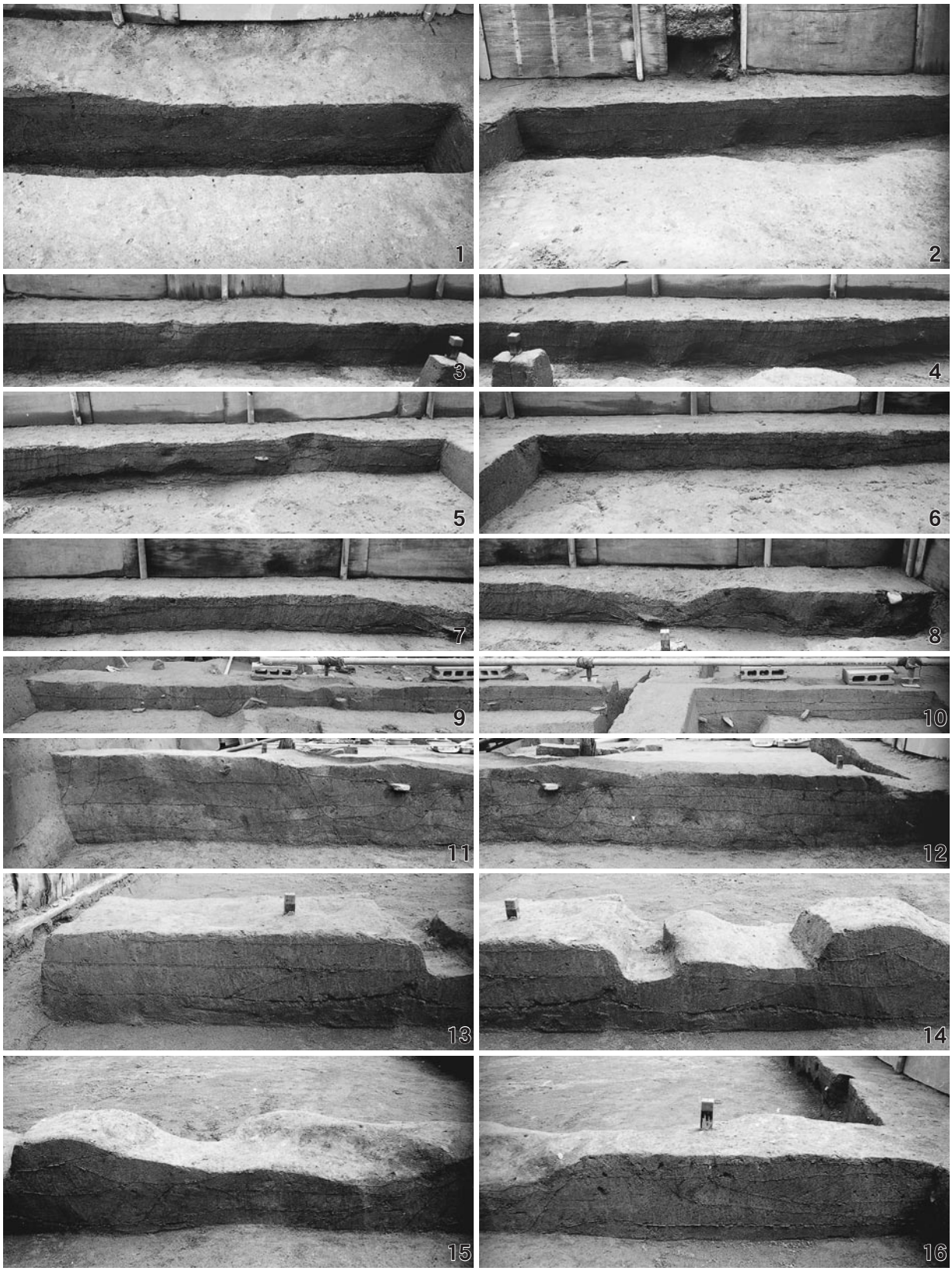
常三島遺跡航空写真（南より）

図版第２



調査区西壁断面・調査区東壁断面(1)

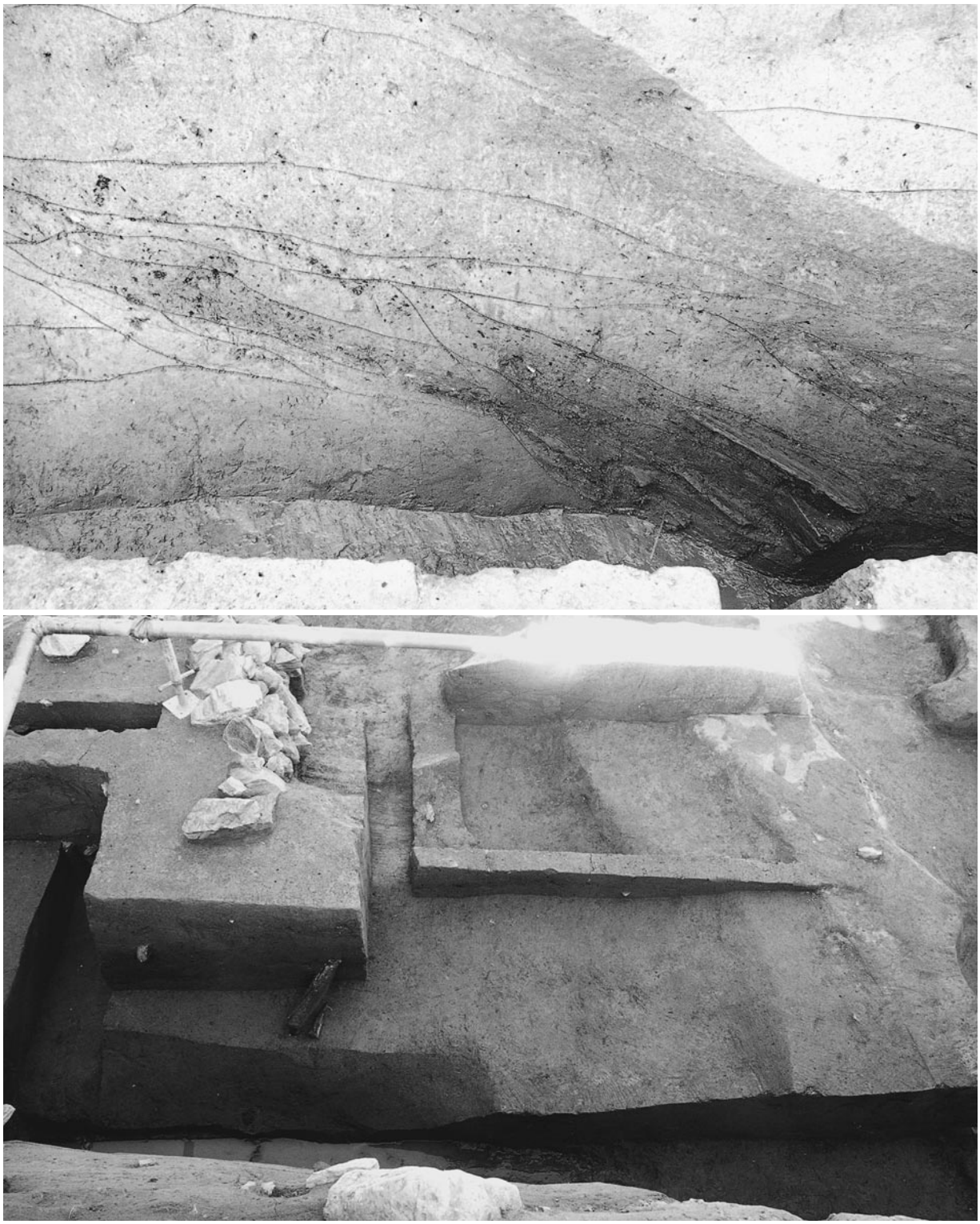
１～３．西壁断面（東より）　４～８．東壁断面（西より）



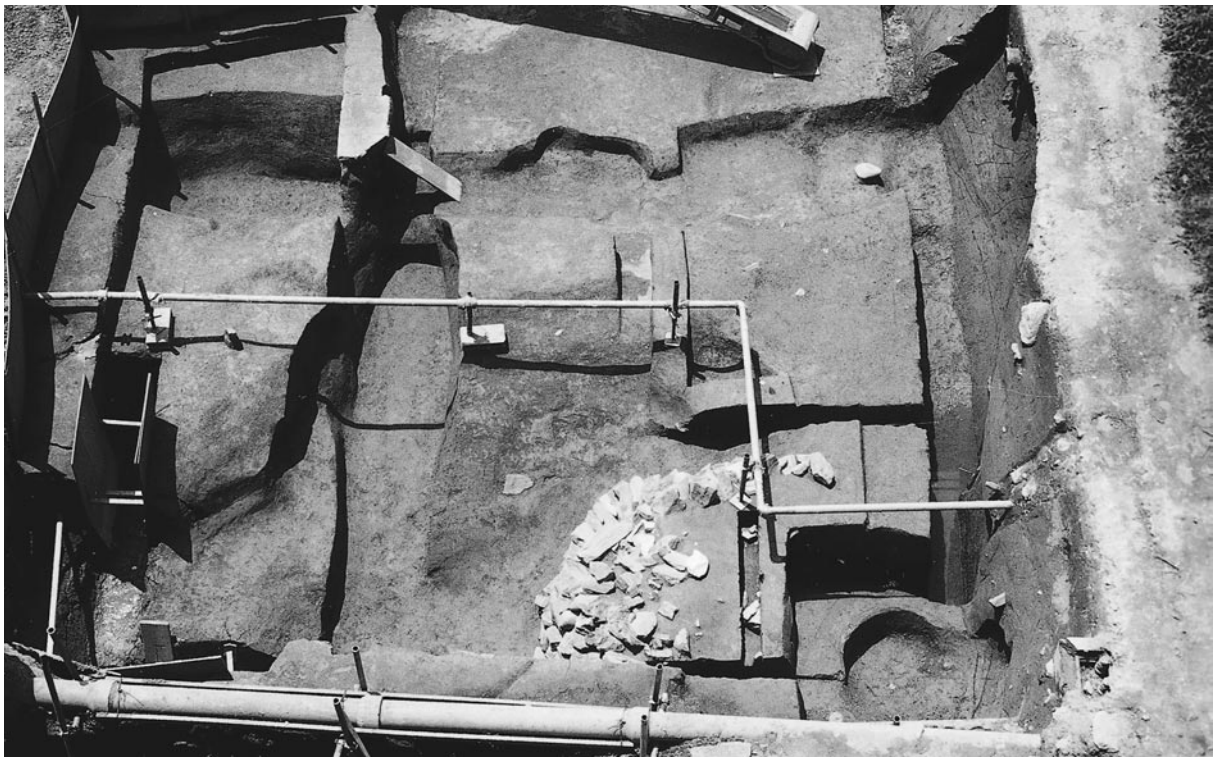
調査区東壁断面(2)・調査区東西断面

１～８．東壁断面（西より）　９･10．Ｂ区東西断面（水道管下）（南より）
11･12．Ｄライン断面（南より）　13･14．Ｅライン断面（南より）
15･16．Ｆライン断面（南より）

図版第４



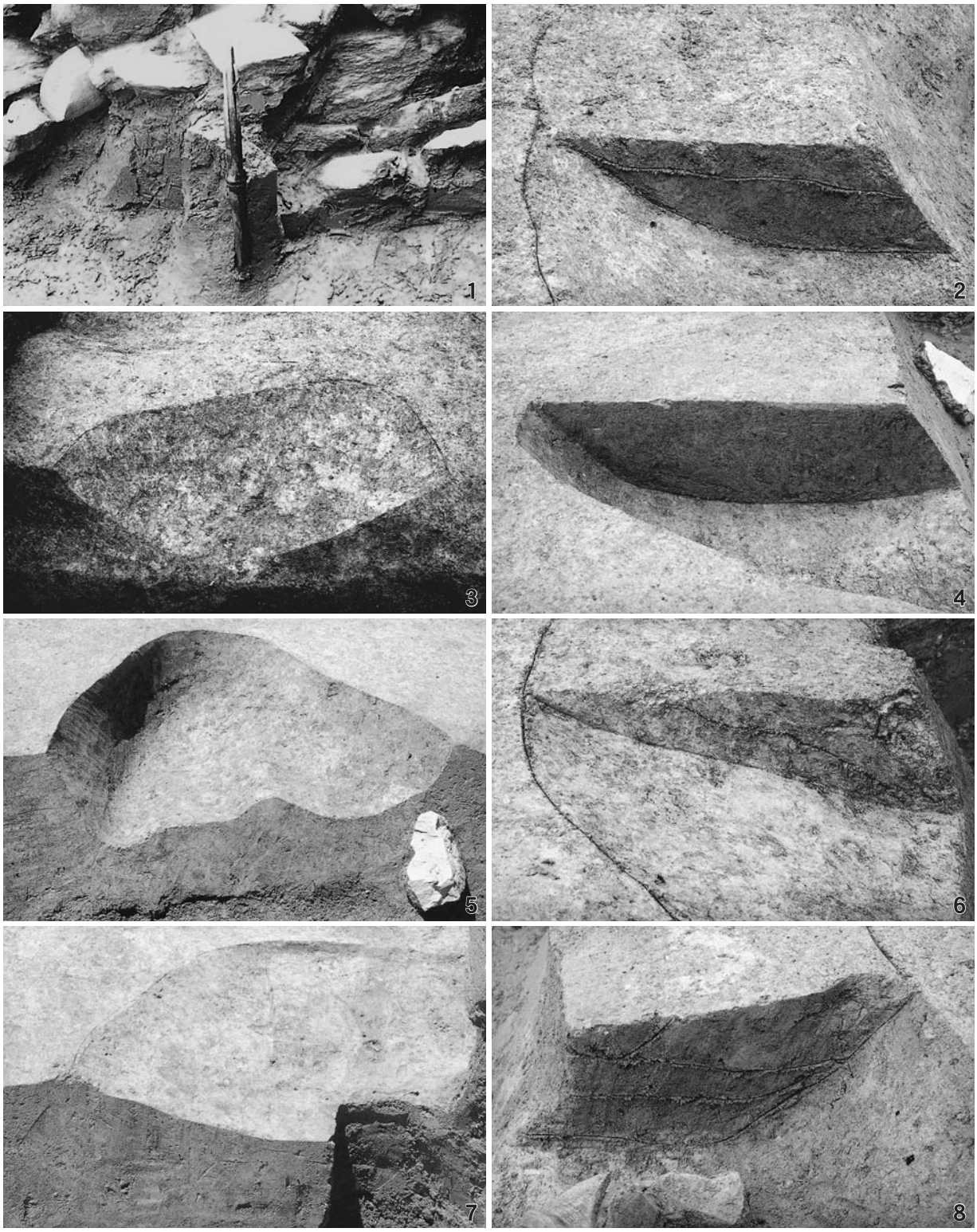
江戸時代第３遺構面　素掘り船入状遺構Ｓ 41
上．断面（東より）　下．完掘（西より）



江戸時代第 2 遺構面(1)　石組み船入状遺構 S 36
上．完掘(北より)　下．石組み部(東より)

図版第６

江戸時代第２遺構面(2)　石組み船入状遺構Ｓ 36
上．石組み部（南東より）　下．同（東より）



江戸時代第２遺構面(3)　石組み船入状遺構Ｓ 36、土坑Ｓ 37 ～ Ｓ 40

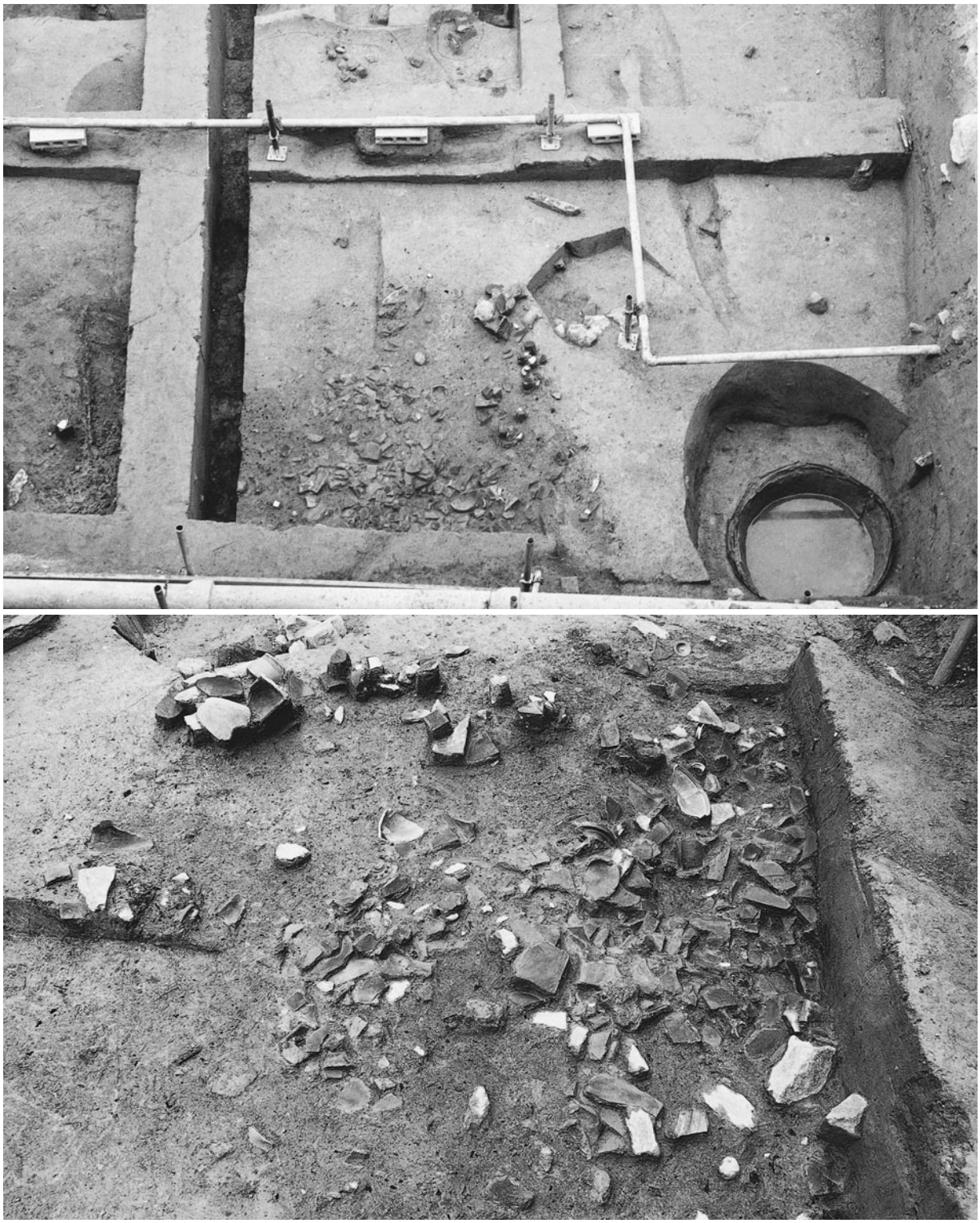
1. 石組み船入状遺構Ｓ 36 竹杭（東より）　2. 土坑Ｓ 37 断面（西より）
3. 同完掘（南より）　4. 土坑Ｓ 38 断面（東より）　5. 同完掘（北より）
6. 土坑Ｓ 39 断面（東より）　7. 同完掘（北より）　8. 土坑Ｓ 40 断面（東より）

図版第８

江戸時代第１遺構面(1)　土坑Ｓ 16

上．完掘（南側に溝Ｓ 19）（北より）

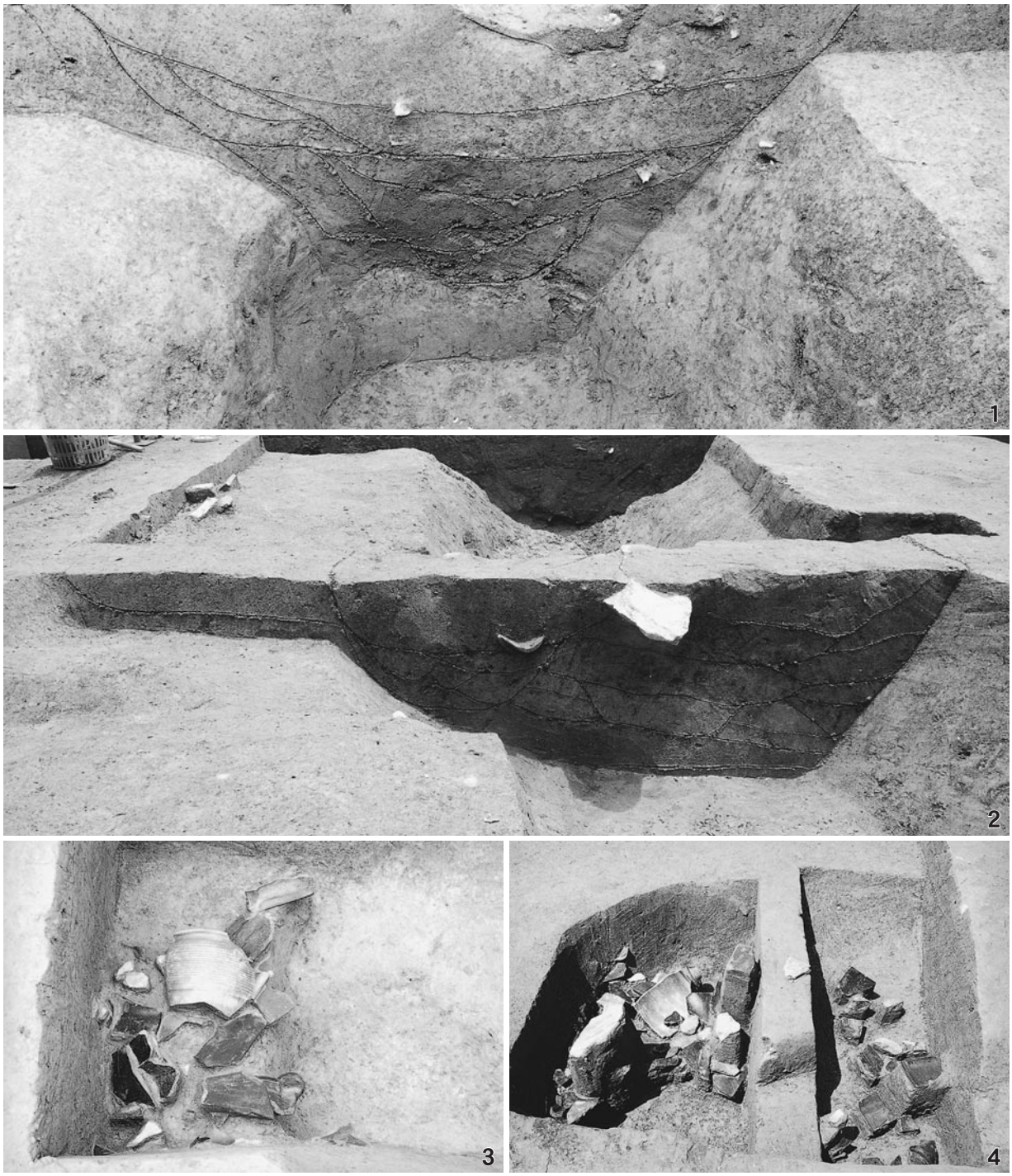
下．断面西半部（南より、下部は石組み船入状遺構Ｓ 36）



江戸時代第 1 遺構面(2)　土坑 S 16
上．遺物出土状況（北より）　下．同（東より）

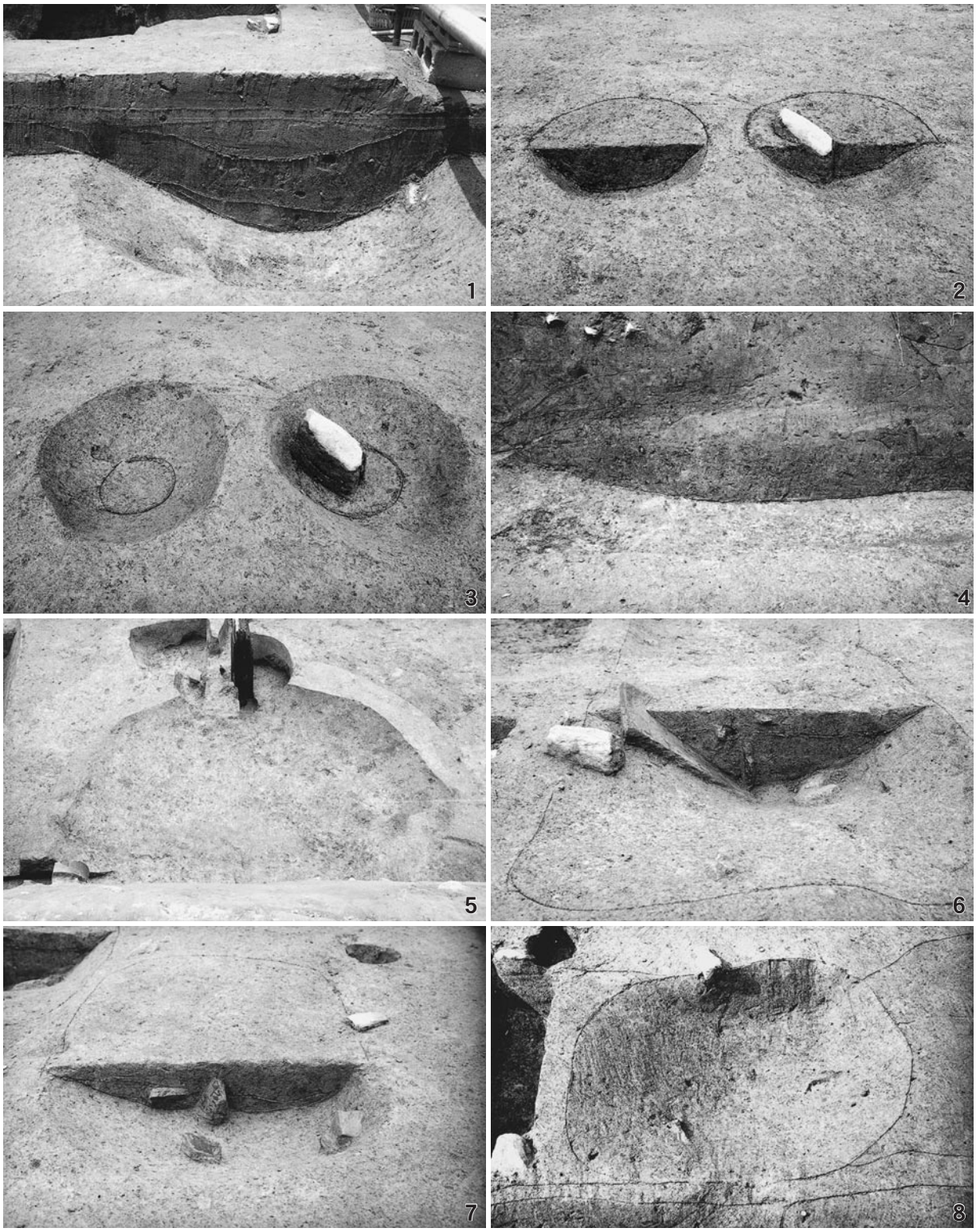
江戸時代第 1 遺構面(3)　土坑 S 16

1. 東西断面西半部(南より)　2. 同東半部(南より)
3. 南北断面(東より)　4. 遺物出土状況(北より)
5. 同(北より)　6. 同(南より)　7. 同(北より)　8. 同(西より)



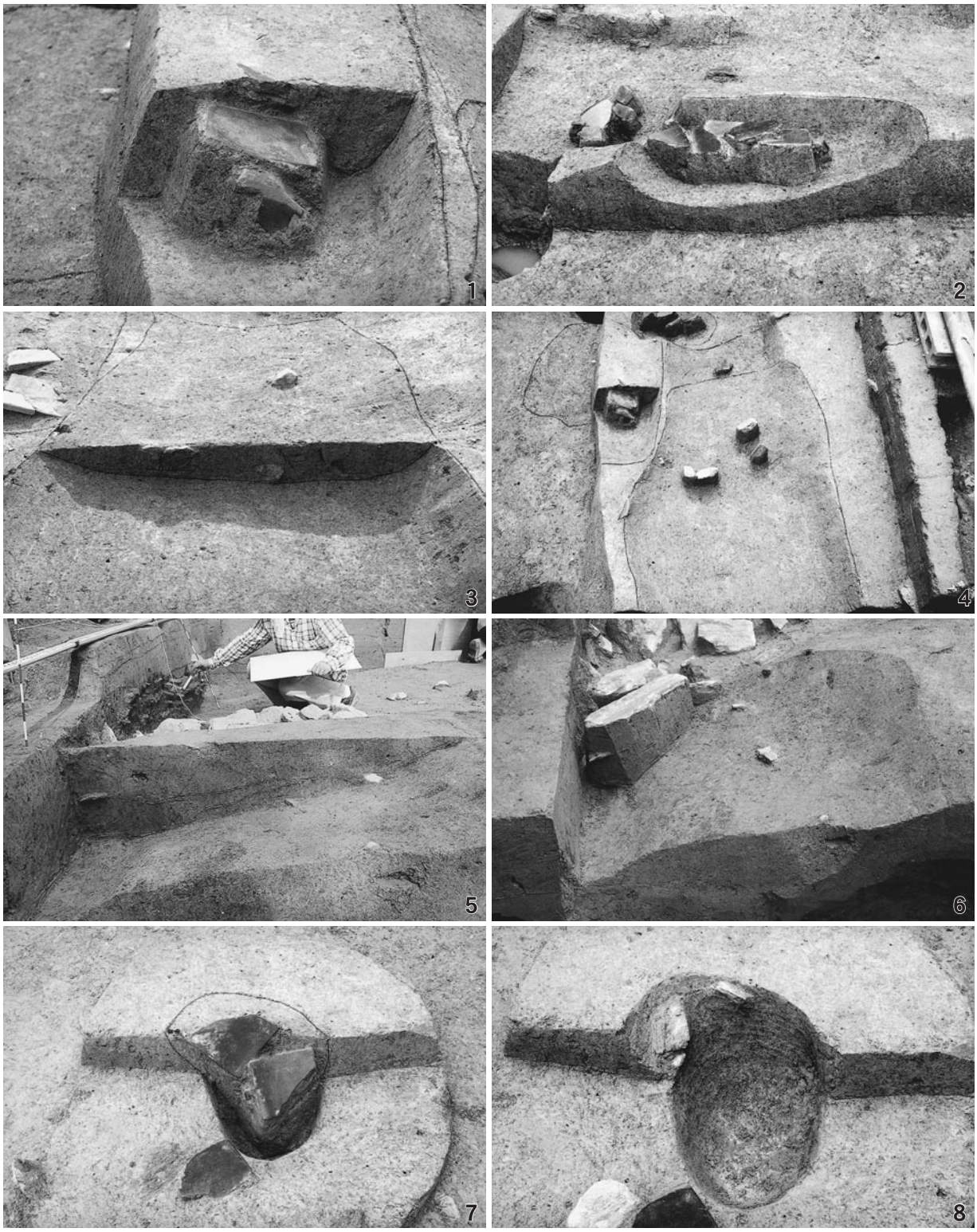
江戸時代第 1 遺構面(4)　溝 S 19

1. 東壁土層断面(西より)
2. 溝 S 19・土坑 S 25・土坑 S 27 切り合い断面(西より)
3. 遺物出土状況(南より)　4. 同(南より)



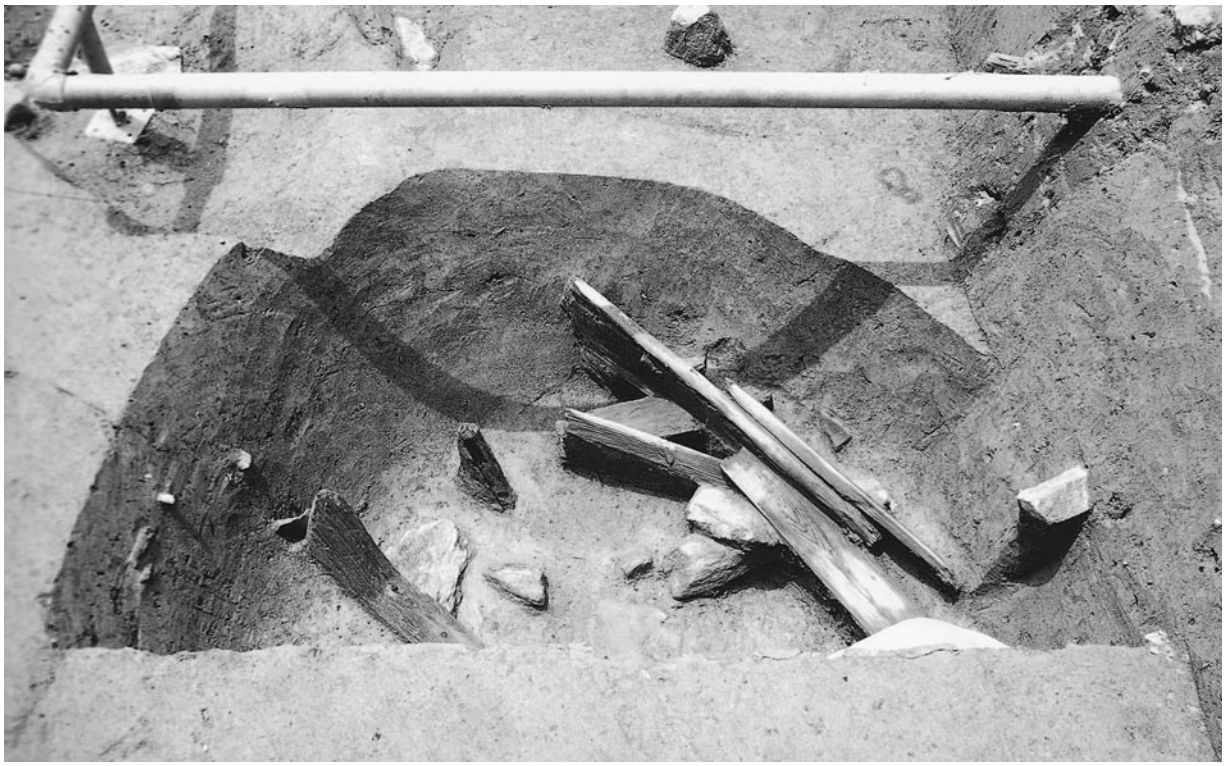
江戸時代第 1 遺構面(5)　土坑 S 18・S 21・S 22・S 23・S 25・S 26

1. 土坑 S 18 断面(東より)　2. 土坑 S 22(右)・土坑 S 21(左) 断面(東より)
3. 同完掘(東より)　4. 土坑 S 23 断面(東より)　5. 同完掘(西より)
6. 土坑 S 25 断面(東より)　7. 土坑 S 26 断面(東より)　8. 同完掘(南より)



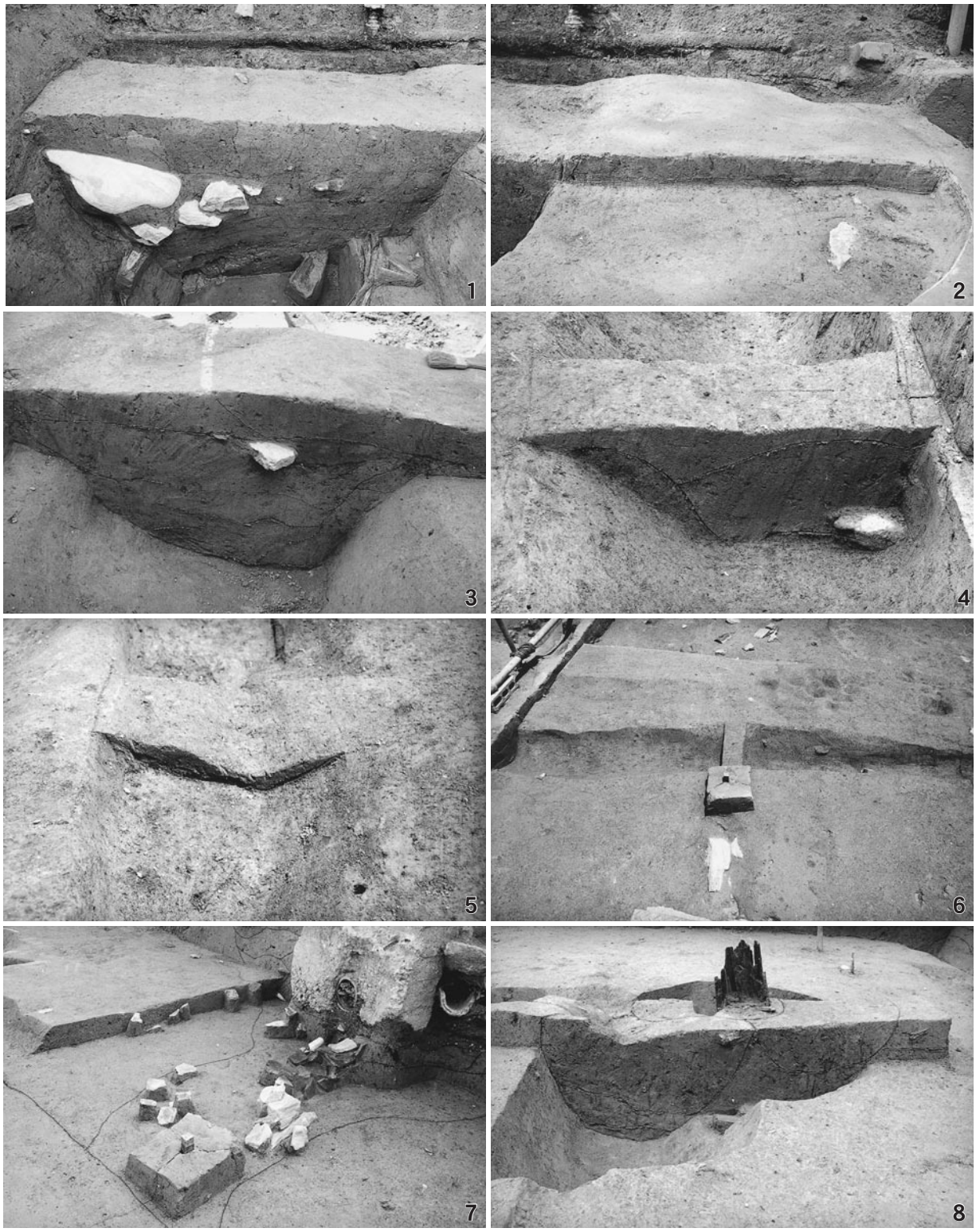
江戸時代第 1 遺構面(6)　土坑 S 28・S 29・S 33・S 34

1. 土坑 S 28 断面(東より)　2. 同遺物出土状況(南より)
3. 土坑 S 29 断面(東より)　4. 同完掘(東より)　5. 土坑 S 33 断面(西より)
6. 同完掘(西より)　7. 土坑 S 34 断面(東より)　8. 同完掘(東より)



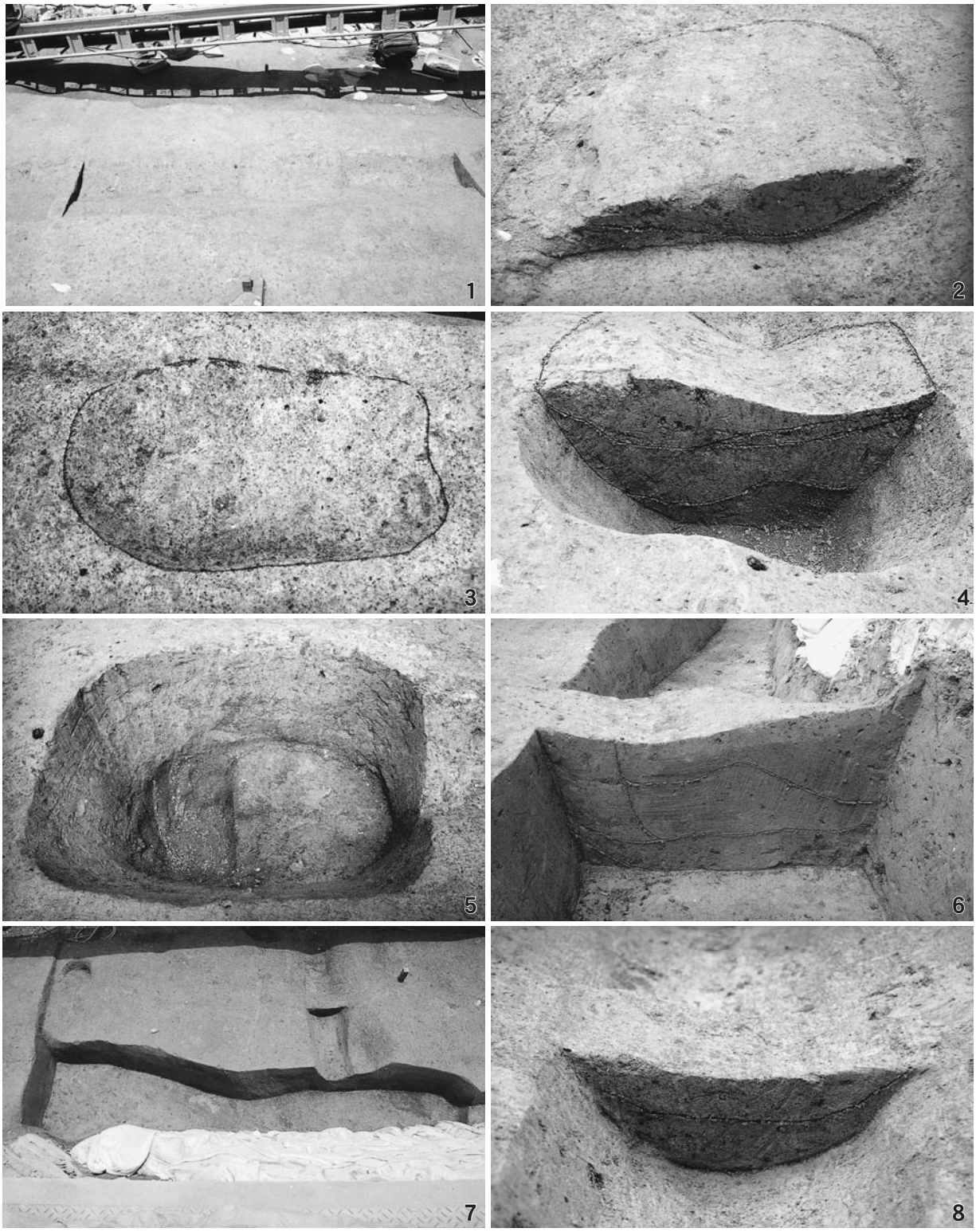
江戸時代第 1 遺構面上半(1)　井戸 S 08
上．遺物出土状況（北より）　下．同（北より）

江戸時代第１遺構面上半(2)　井戸Ｓ 08、曲物埋設遺構Ｓ 09
上．井戸Ｓ 08 完掘（西より）　下．曲物埋設遺構Ｓ 09 完掘（南より）



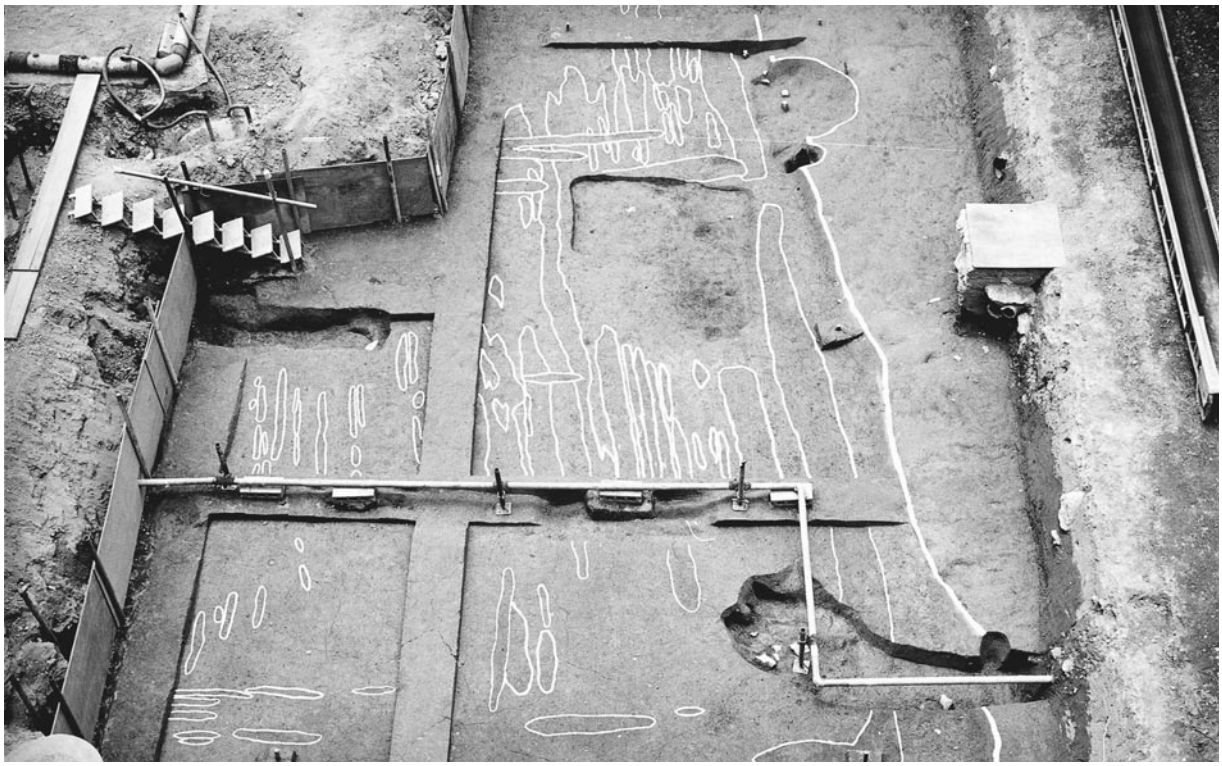
江戸時代第 1 遺構面上半(3)　井戸 S 08、曲物埋設遺構 S 09、土坑 S 05、溝 S 07、土坑 S 10・S 11・S 15

1. 井戸 S 08 断面(南より)　2. 曲物埋設遺構 S 09 断面(南より)
3. 土坑 S 05 断面(南より)　4. 溝 S 07 断面(北より)　5. 同断面(南より)
6. 同完掘(西より)　7. 土坑 S 10 遺物出土状況(北東より)
8. 土坑 S 11・S 15 断面(北より)

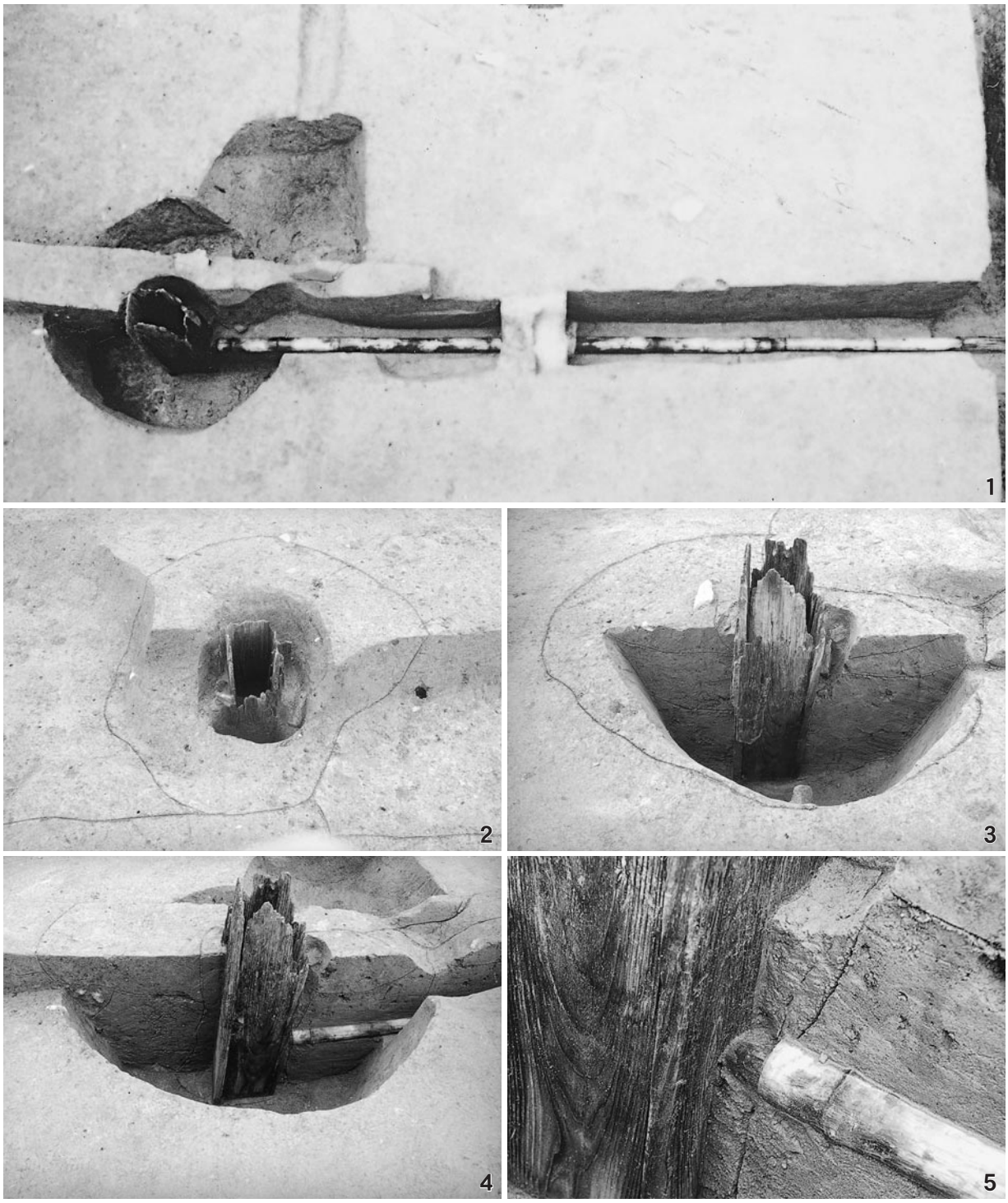


江戸時代第１遺構面上半(4)　溝Ｓ 12、土坑Ｓ 13・Ｓ 14・Ｓ 20・Ｓ 24

1. 溝Ｓ 12(東より)　2. 土坑Ｓ 13 断面(南より)　3. 同完掘(東より)
4. 土坑Ｓ 14 断面(東より)　5. 同完掘(東より)　6. 土坑Ｓ 20 断面(北より)
7. 同完掘(西より)　8. 土坑Ｓ 24 断面(西より)

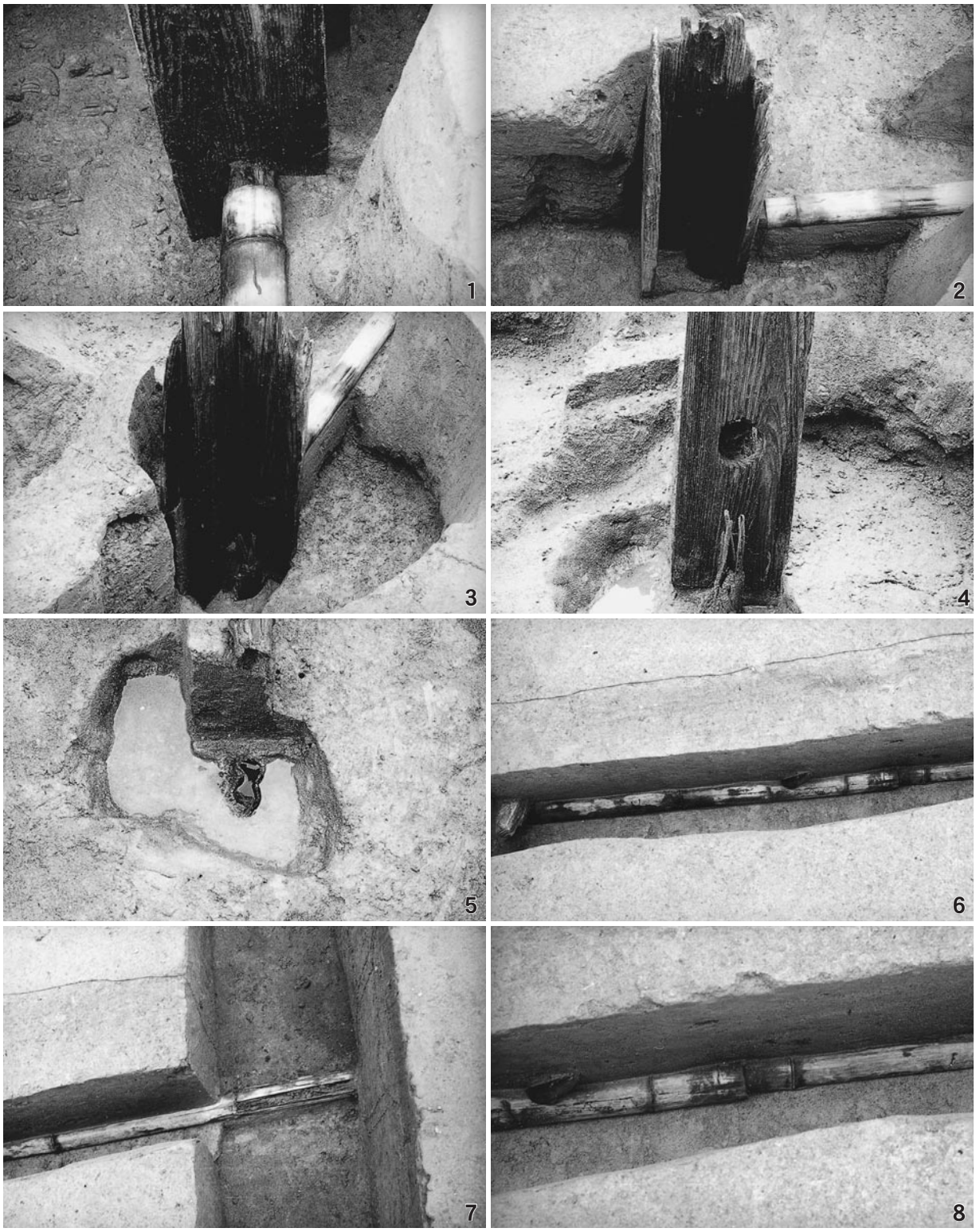


明治時代水田面(1)　水田Ｓ 01
上．下層鋤痕（北より）　下．同北側部分（北より）



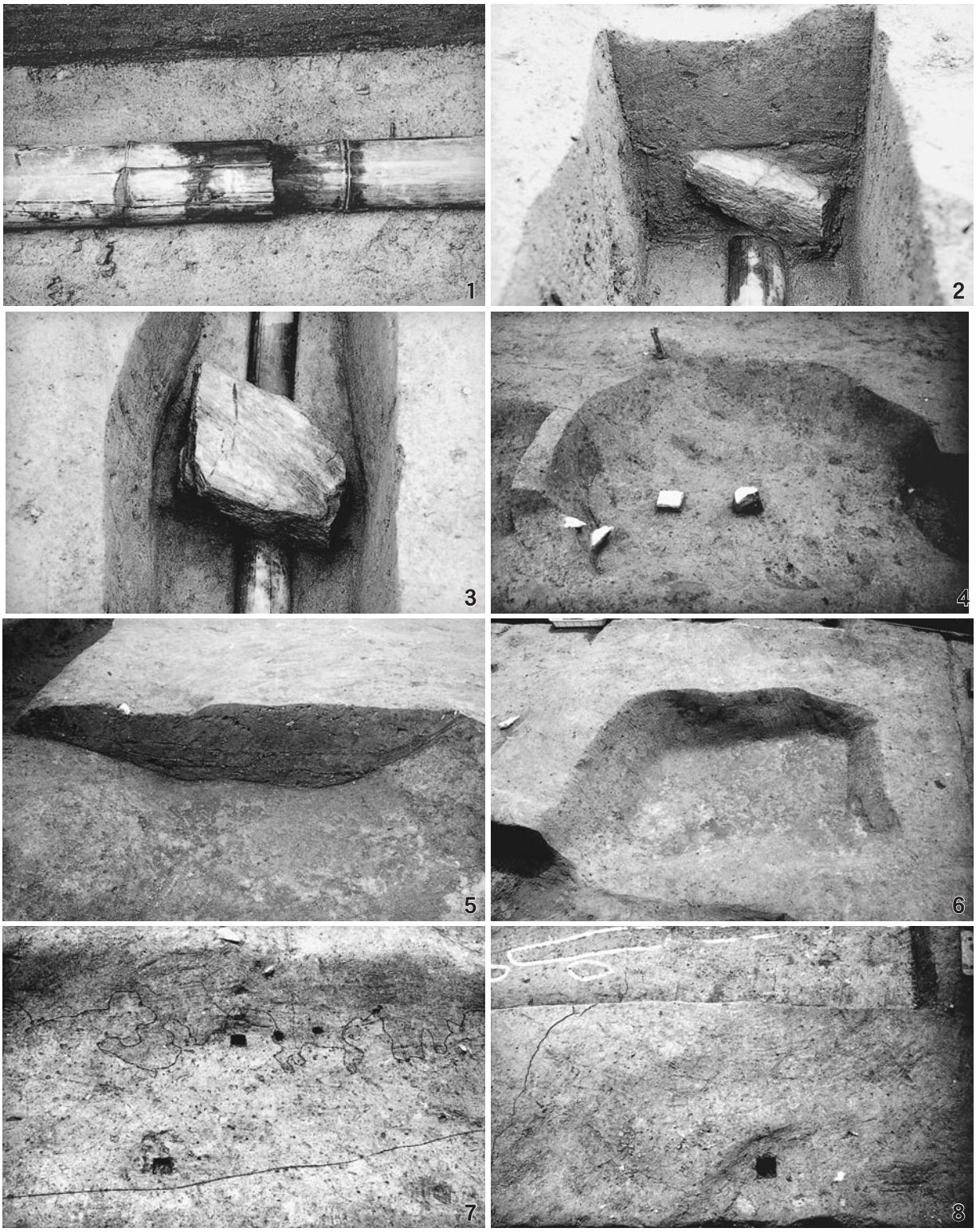
明治時代水田面(2)　揚水施設Ｓ 04・暗渠Ｓ 17

1. 完掘(南より)　2. 揚水施設Ｓ 04 木枠出土状況(東より)
3. 同断面(南より)　4. 揚水施設Ｓ 04・暗渠Ｓ 17 断面(南より)
5. 同接合部分拡大(南より)



明治時代水田面(3)　揚水施設Ｓ 04・暗渠Ｓ 17

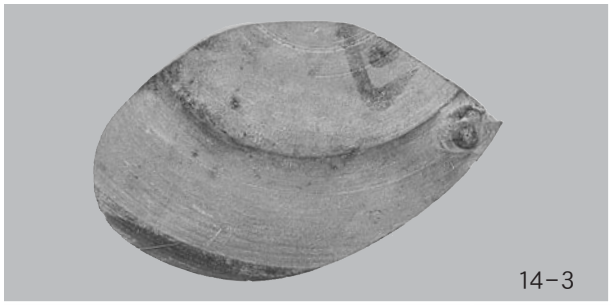
1. 接合状況(南より)　2. 揚水施設Ｓ 04 内部(南より)
3. 同(南西より)　4. 同(西より)　5. 揚水施設Ｓ 04 底部の竹筒(西より)
6･7. 暗渠Ｓ 17 断面(南より)　8. 同継目(南より)

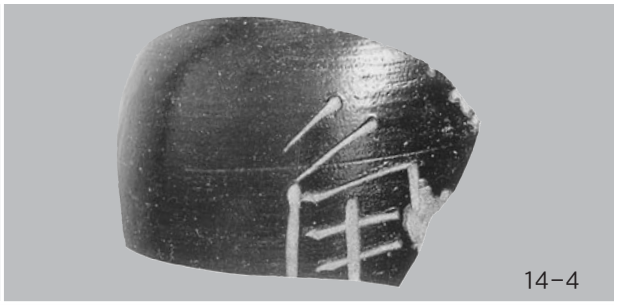


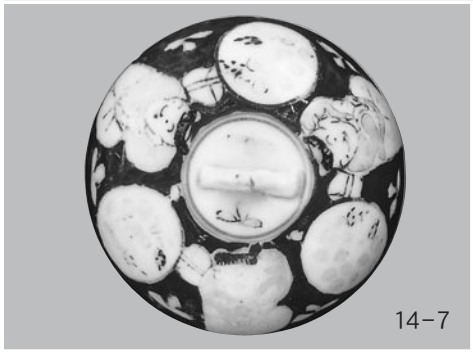
明治時代水田面(4)　暗渠Ｓ 17、土坑Ｓ 03・Ｓ 06、水田Ｓ 01サンプル採集地点

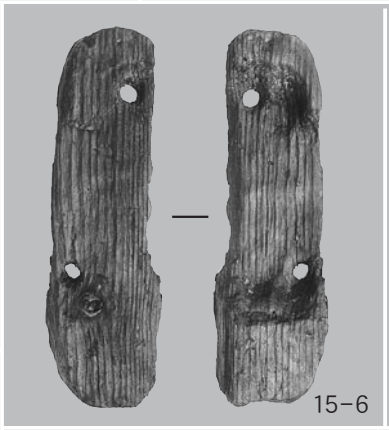
1. 暗渠Ｓ 17 継目(南より)　2. 同断面(東より)　3. 同固定石(東より)　4. 土坑Ｓ 03 完掘(東より)
5. 土坑Ｓ 06 断面(南より)　6. 同完掘(西より)　7･8. 水田Ｓ 01 サンプル採集地点(東より)

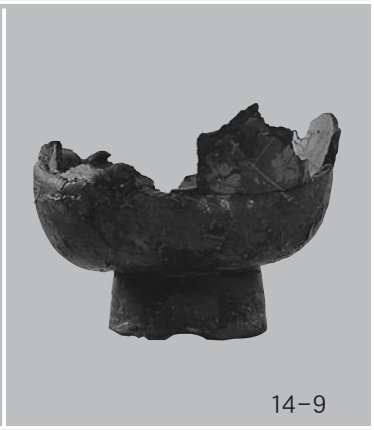
図版第 22

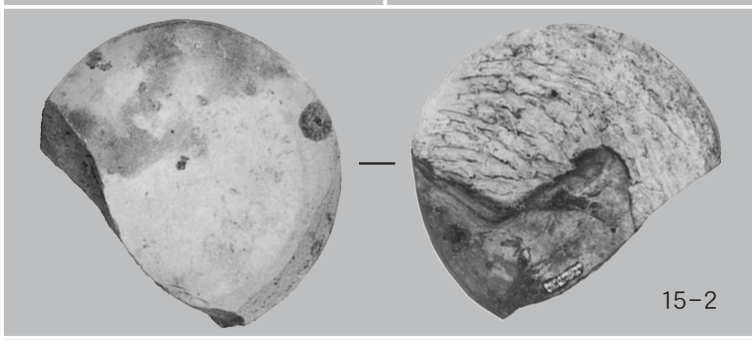


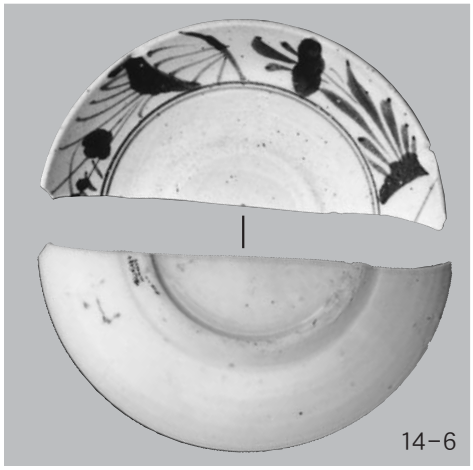


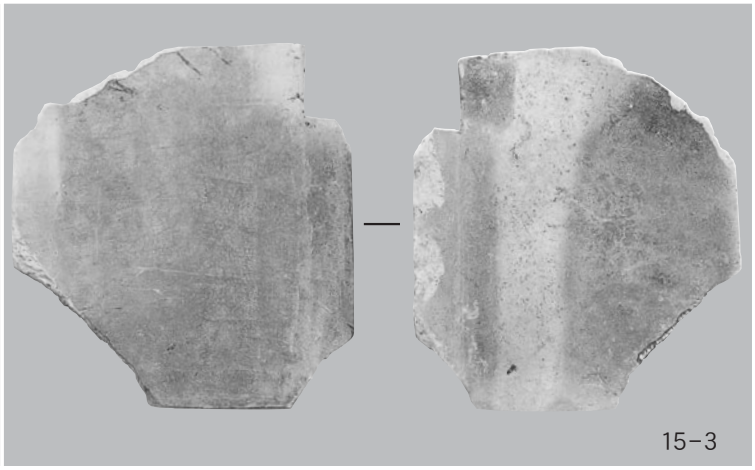




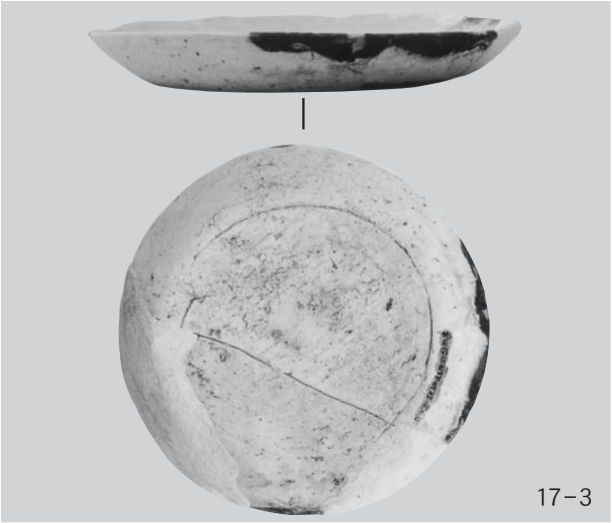


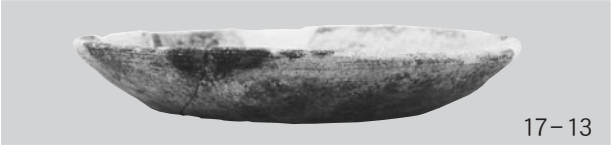


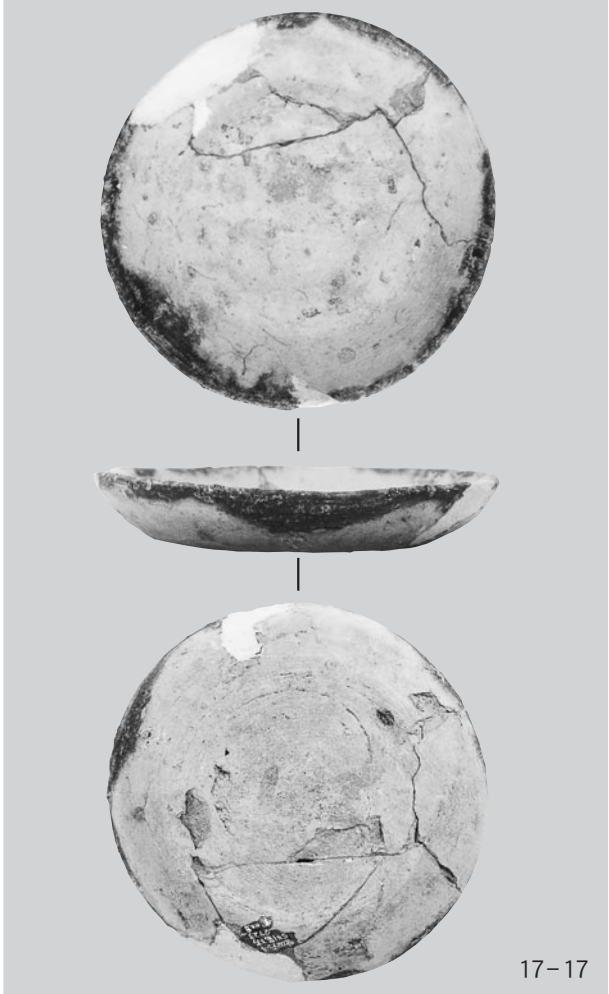




包含層出土遺物







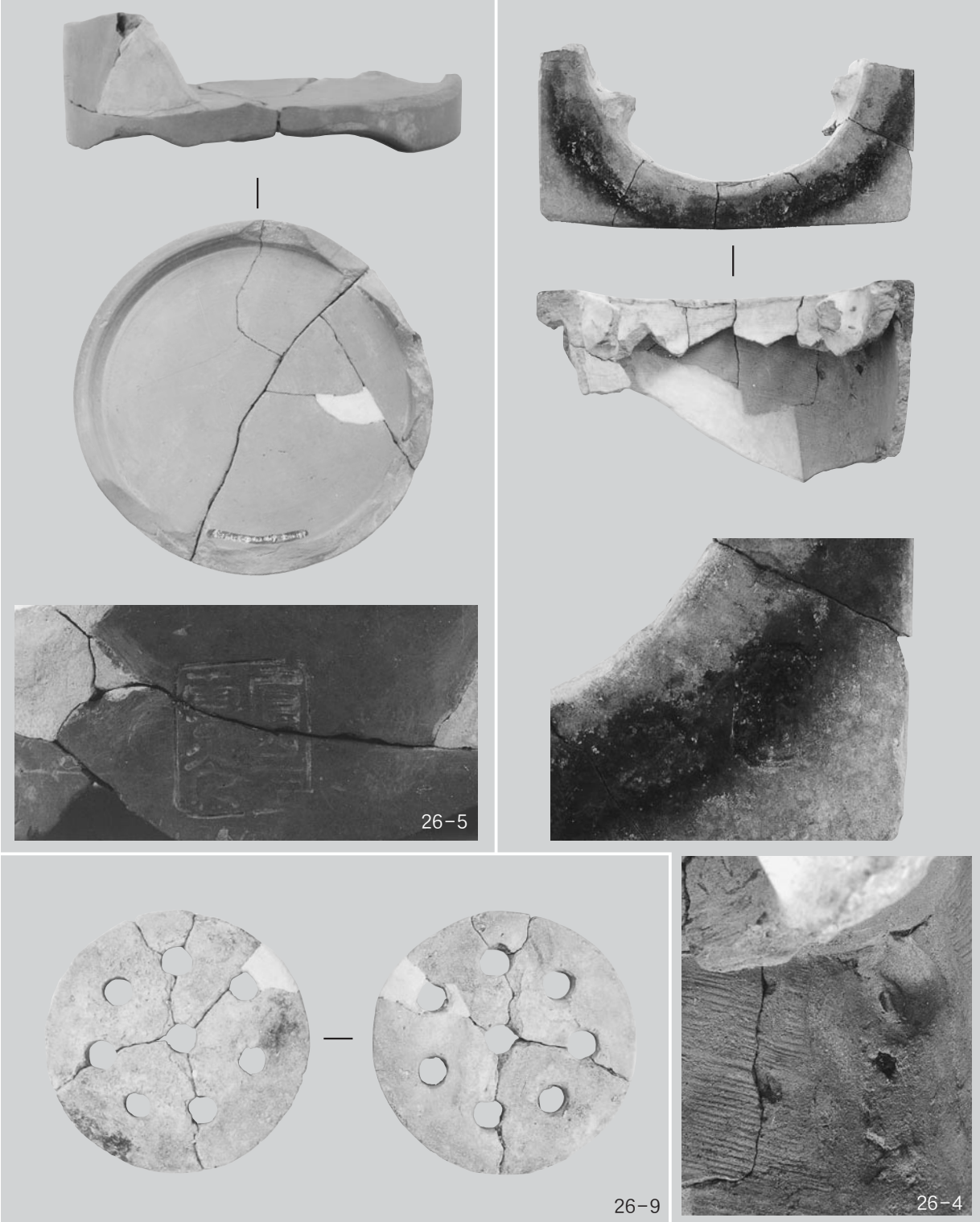
素掘り船入状遺構Ｓ 41 出土遺物(1)

図版第 24

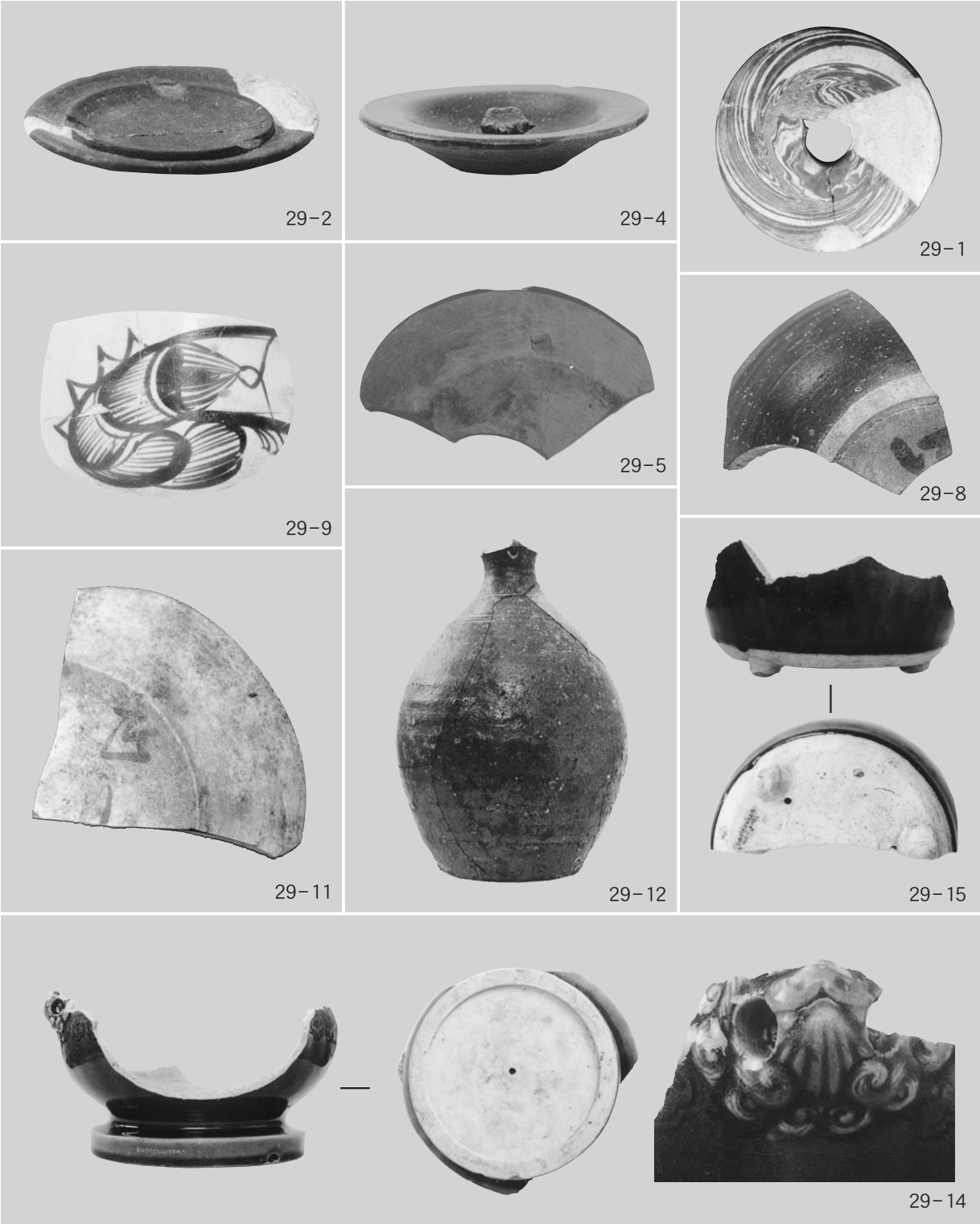
素掘り船入状遺構 S 41 出土遺物(2)

石組み船入状遺構 S 36 出土遺物

図版第 26



土坑 S 16 出土遺物(1)



土坑 S 16 出土遺物(2)

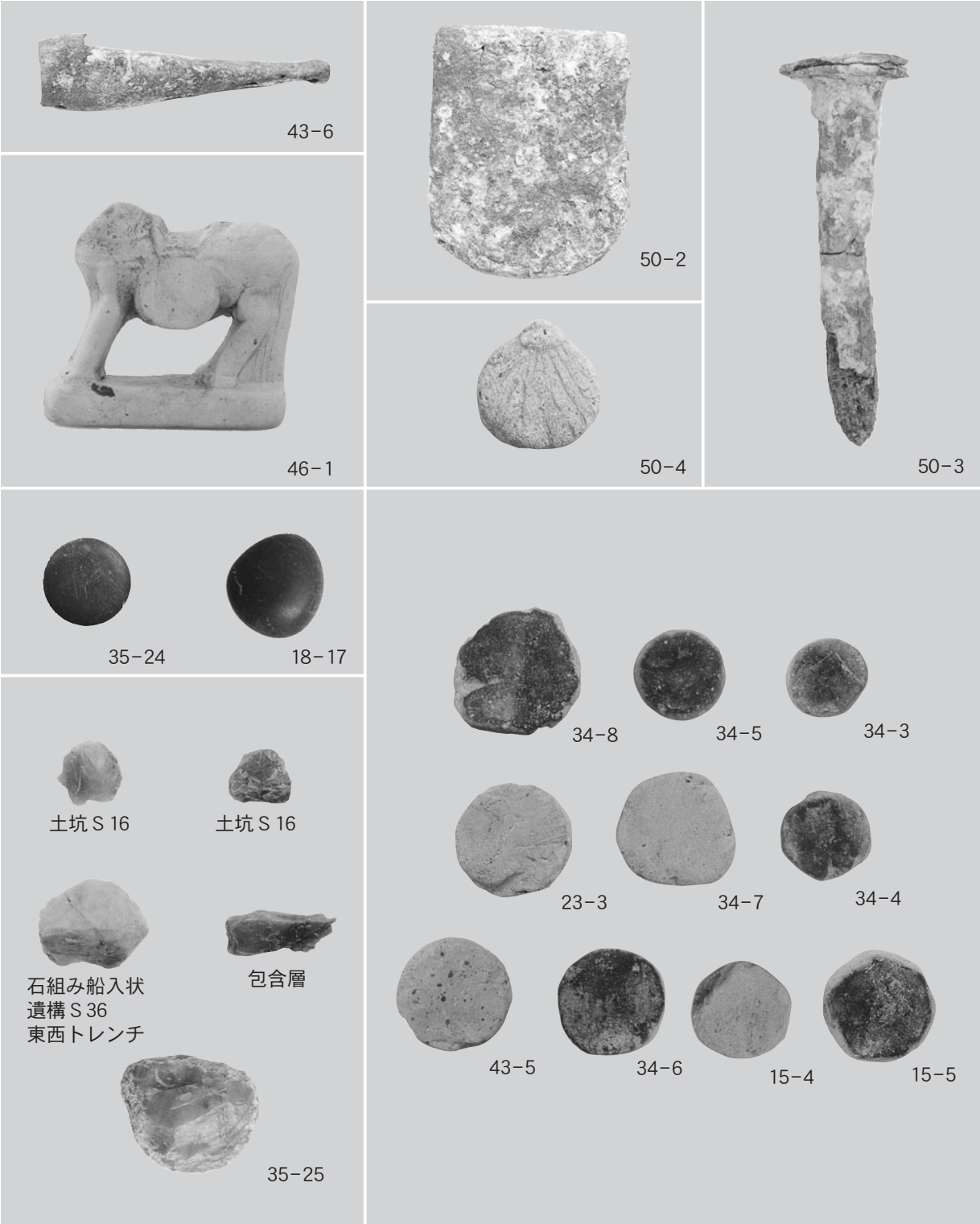
図版第 28

土坑 S 16 出土遺物(3)

土坑 S 16 出土遺物(4)

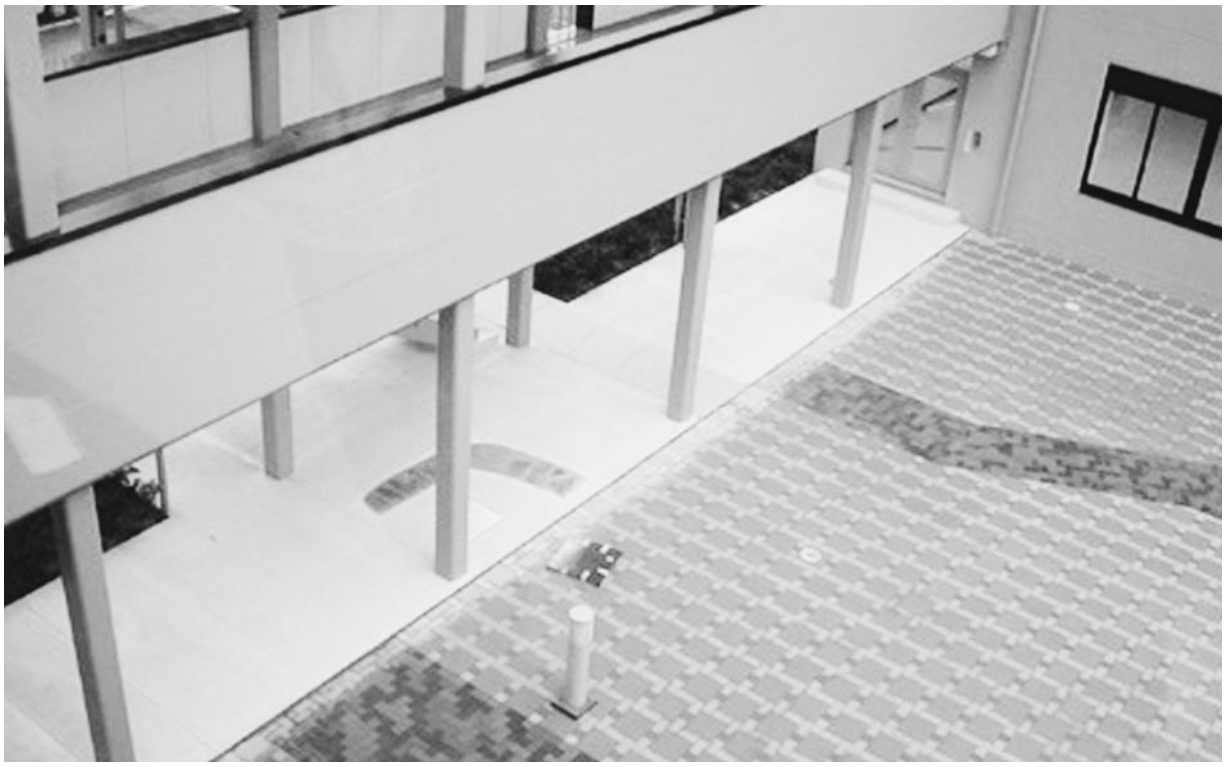
図版第 30

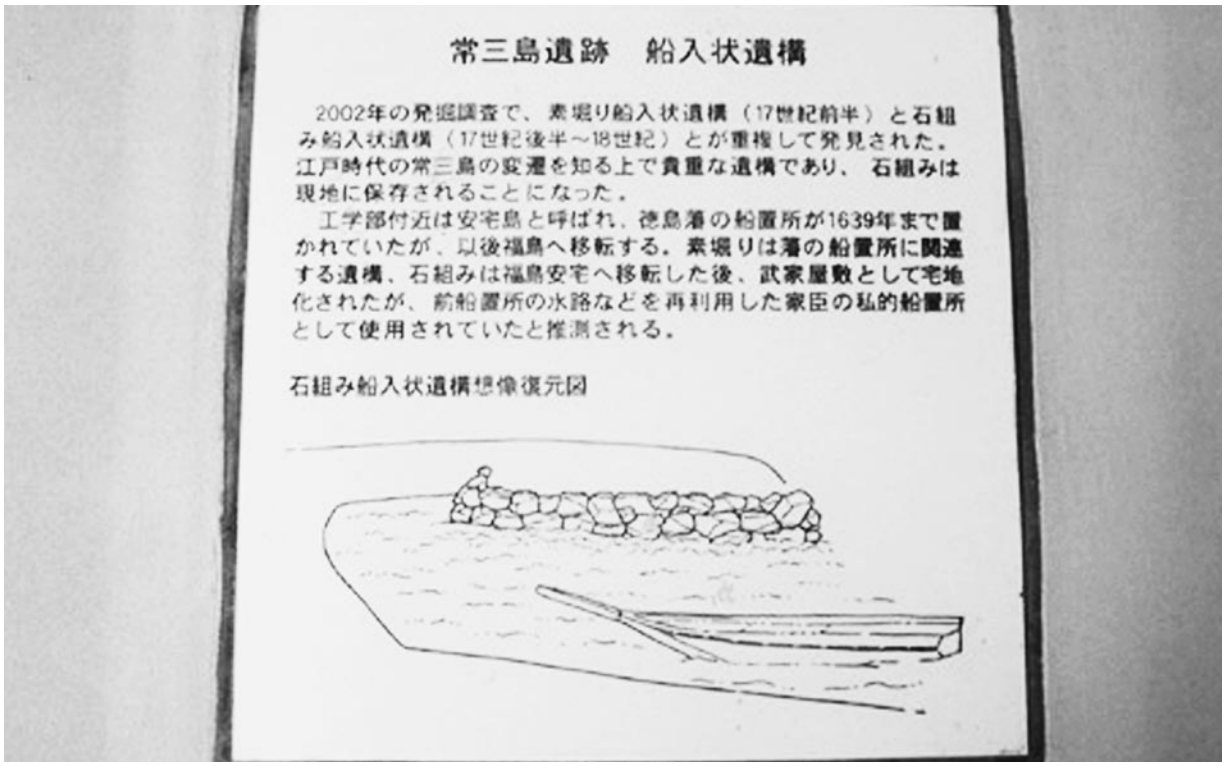
土坑 S 16 出土遺物(5)、溝 S 19 出土遺物、土坑 S 27 出土遺物



井戸 S 08 出土遺物、曲物埋設遺構 S 09 出土遺物、水田 S 01 出土遺物、土坑 S 03 出土遺物、碁石・火打石（無番は未実測）**・加工円盤**

図版第 32





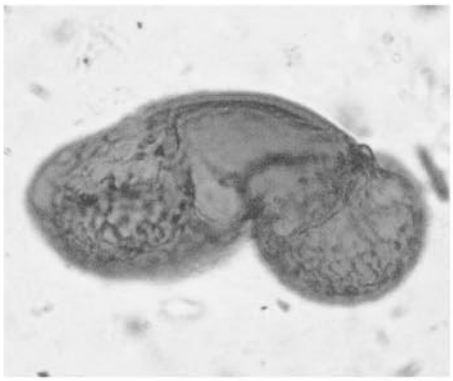
常三島遺跡　船入状遺構

2002年の発掘調査で、素堀り船入状遺構（17世紀前半）と石組み船入状遺構（17世紀後半～18世紀）とが重複して発見された。江戸時代の常三島の変遷を知る上で貴重な遺構であり、石組みは現地に保存されることになった。

工学部付近は安宅島と呼ばれ、徳島藩の船置所が1639年まで置かれていたが、以後福島へ移転する。素堀りは藩の船置所に関連する遺構、石組みは福島安宅へ移転した後、武家屋敷として宅地化されたが、前船置所の水路などを再利用した家臣の私的船置所として使用されていたと推測される。

石組み船入状遺構想像復元図

工学部電気電子棟渡り廊下設置解説板
上．北棟より渡り廊下を望む　下．解説板

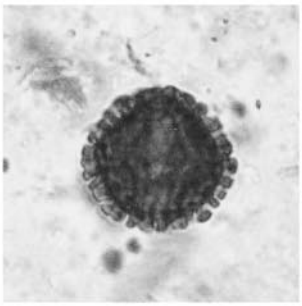


1　マキ属

2　マツ属複維管束亜属

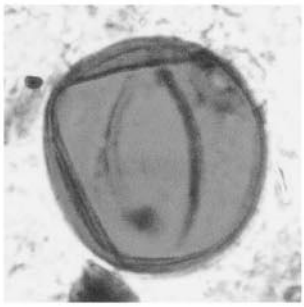
3　スギ

4　コナラ属コナラ亜属

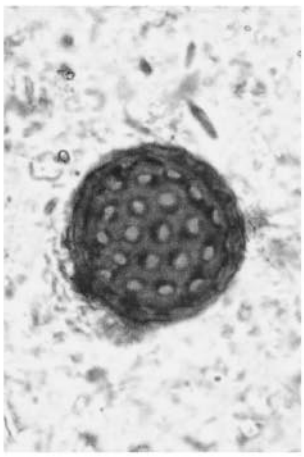


5　モチノキ属

6　マメ科

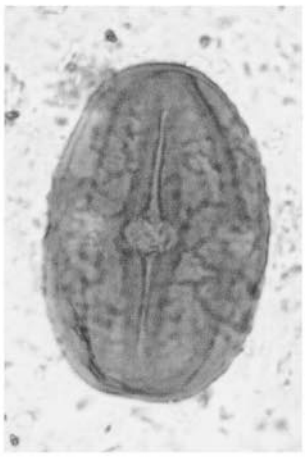


7　イネ属型

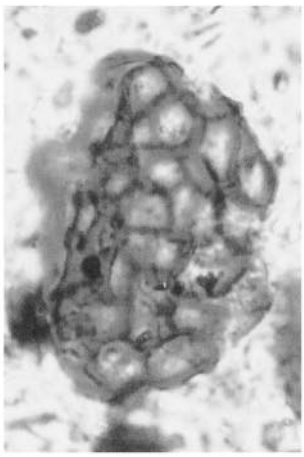


8　アカザ科－ヒユ科

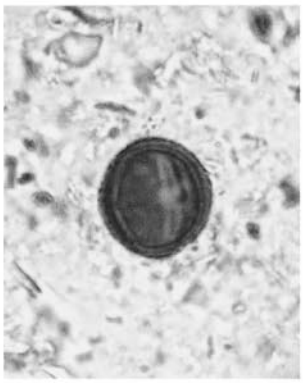
9　アブラナ科



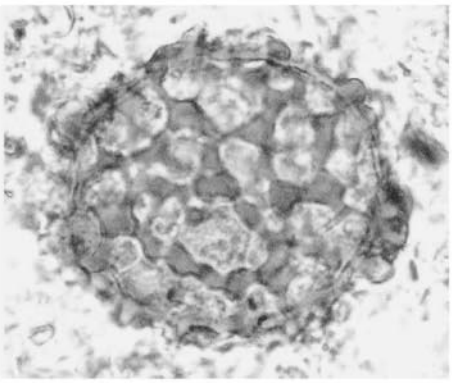
10　ソラマメ



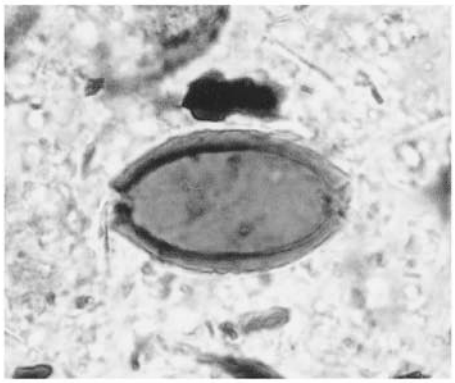
11　ササゲ属



12　ヨモギ属



13　回虫卵



14　鞭虫卵

10 μm

常三島遺跡工学部電気電子棟地点の花粉・寄生虫卵

報告書抄録

ふりがな	じょうさんじまいせき　いち
書名	常三島遺跡１
副書名	工学部電気電子棟地点
巻次	
シリーズ名	徳島大学埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第２巻
編著者名	定森秀夫・根津寿夫・金原正明・金原正子
編集機関	徳島大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒770-8503　徳島市蔵本町２丁目50-1　TEL　088(633)7236
発行年月日	西暦2005年3月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
じょうさんじまいせき 常三島遺跡	とくしまし みなみじょうさん 徳島市南常三 じまちょうにちょうめ 島町2丁目	36201		34° 04′ 37″	134° 33′ 46″	20020520 ～ 20020805	253㎡	徳島大学工学部実験研究棟改修その他工事に伴う埋蔵文化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
常三島遺跡	近世城下町	江戸時代	船入状遺構、溝、井戸、曲物埋設遺構、土坑	土師器、陶器、磁器、木器、石製品、金属製品	17世紀前半から中頃の素掘り船入状遺構、17世紀後半から18世紀にかけての石組み船入状遺構を重複して検出。前者は徳島藩の安宅島初期船置所の遺構、後者は宅地化以降の民澤家の私的水運遺構と推測された。
		明治時代	水田、溝、揚水施設、暗渠、土坑	金属製品	

2005年3月31日発行

徳島大学埋蔵文化財調査報告書　第2巻

常三島遺跡1

－工学部電気電子棟地点－

編集　国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室
徳島市蔵本町2丁目50－1　(088)633－7236

発行　国立大学法人徳島大学
徳島市新蔵町2丁目24番地　(088)656－7000(代表)

印刷　徳島印刷センター
徳島市問屋町165　(088) 625-0135